

JCAAW

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.
ワシントン日本商工会会報

11月号 2024年 No. 567

目次

- 研修会報告「国際通貨基金(IMF)の機能と役割等について “Functions and Roles of International Monetary Fund”2
- Save the Date! 2025 ワシントン新春祭りのご案内3
- 2024年秋季ネットワーキングイベント開催報告4
- 広告募集のご案内7
- ワシントン月報(第206回)「30年闘争記 ～ローファームの分裂～ ～我が人生～」
米国特許弁護士 服部 健一8
- 今月の書籍紹介「始めたことを終わらせよう」
ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子13
- English Rescue by Jennifer
「Language and Culture」15
- 編集後記18

JCAW Copyright © 2024 All Rights Reserved.
会報内すべてのコンテンツの無断転用を禁じます。

今月の特集

「Save the Date! 2025 ワシントン新春祭りのご案内」

商工会の新春祭りが2年ぶりに開催されることとなりました。まずはカレンダーにマークをお願い致します! P.3



「2024年秋季ネットワーキングイベント開催報告」

毎回多くの皆様にご参加いただいております当イベントは、昨年と同様に、日本大使館旧公邸をお借りしての開催となりました。艶やかで格調高い館内の雰囲気の中、当地の日本料理店による絶品の食事や飲み物と共に、ネットワーキングをお楽しみいただけたと思います。ご報告いたします。P.4～



連載

「English Rescue by Jennifer: Language and Culture」

いよいよ残り2回となりました本年のテーマ「American Sports」シリーズ。今月は、「Women's sports」です。女性に人気のスポーツなどご紹介いただいています。P.15～

研修会報告

「国際通貨基金(IMF)の機能と役割等について “Functions and Roles of International Monetary Fund” 講演者:国際通貨基金(IMF)日本理事 水口 純 様

研修担当理事:須内 康史／上坪 雄之

2024年9月6日(金)、ワシントン日本商工会は国際通貨基金(IMF)日本理事の水口純様をお招きし、IMFの機能と役割等について、オンラインと対面のハイブリッド形式の研修会を開催しました。

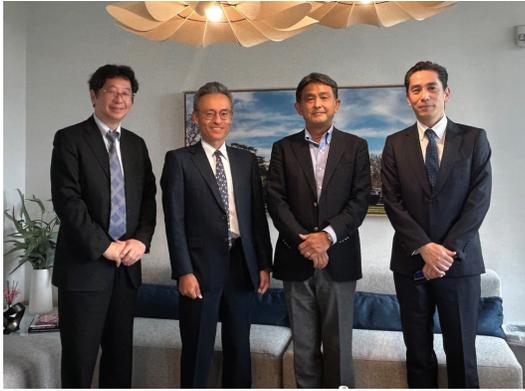
同じワシントンD.C.にしながら、これまであまり接点のなかったIMFとワシントン日本商工会。本研修会に先立ち、水口理事と商工会理事の間で意見交換会を実施し、今後お互いに接点を増やしていくことを確認しました。その一環として、10月のIMF世界銀行年次総会のご準備でお忙しい中、今回水口理事からIMFの機能と役割等についてご講演の機会を頂きました。



水口理事は1987年に大蔵省(当時)に入省、その後、本省勤務だけでなく、アジア開発銀行(フィリピン)や国際決済銀行(スイス)での海外勤務も経験され、東海財務局長や財務省大臣官房政策立案総括審議官等の要職を歴任された後、2022年にIMF日本理事に就任されました。

研修会ではIMFの組織と目的並びにIMFが果たす3つの役割と機能、すなわち①マクロ経済政策運営の調査・分析と政策提言(サーベイランス)、②通貨の安定や外貨準備の再構築を図るための融資の提供、③主に中低所得国の経済発展を支援するための政府機関や中央銀行に対する能力開発支援、について詳しく解説を頂き、国際社会の中でIMFが果たす重要な役割を理解する絶好の機会となりました。

その後の質疑応答を含め、研修会を通じて水口理事が特に熱く語っておられたのが、現在取り組まれているIMFで働く日本人職員の増加に向けた様々な活動です。日本は米国に次いで出資比率2位(6.5%)である一方で職員比率では僅か2.5%となっており、IMFの職員数において日本は大幅な過小代表となっている実態があります。今後日本がIMFに有意な貢献を続けていくために日本



人職員の採用増は極めて重要、との考えのもと、水口理事自ら日本の大学や高校に出向き、SNSも含め、IMFで働く意義や魅力を精力的に発信されていることに感銘を受けました。

水口理事のご尽力が将来実を結ぶことを商工会として強く祈念しつつ、ご多忙の中このような貴重な機会を提供頂いた水口理事に厚く御礼を申し上げます。

以上

2025 ワシントン 新春祭り



写真は2023年度新春祭りで撮影されたものです。

新春祭り開催概要決定!

Save the Date!

日時: 2025年1月26日(日) 11:00am~3:00pm

場所: George Mason University Mason Square (Arlington Campus)
3351 Fairfax Dr, Arlington, VA 22201

共催: Study Japanese in Arlington、たんぼぼ学園、ワシントン日本語学校、ワシントン日本商工会
後援: 在アメリカ合衆国日本国大使館

2025年新春祭りを2年振りにGeorge Mason University Mason Square (Arlington Campus)で開催いたします。ワシントンでの日本のお正月気分を久しぶりに味わってください。JCAWの精鋭が実行委員会メンバーとして終結、鋭意企画作りを進めています。近日中に商工会WEBサイトのご案内を開始しますのでご期待! まずは来年1月26日にマークしてください。

(JCAW新春祭り広報担当)

2024年秋季ネットワーキングイベント開催報告

会員担当理事：ファース・ベイデン、佐藤卓央

去る10月16日(水)、在米国日本大使館との共催により、日本大使旧公邸を会場に秋季ネットワーキングイベントを開催することができました。当日は快晴とはいえ一足早い冬の訪れを感じさせるほど冷えましたが、商工会会員のみならず非会員の方も含め、180名ほどの皆さまにご参加いただきました。



はじめに、商工会の吉村会長による開会挨拶では、今回、コロナ禍以降最も多くの方にご参加いただけたことは嬉しく、ネットワーキングを通じてさらに結束を強めて欲しいとの願いが述べられました。続いて、大使館の野村公使より、本年も盛況にネットワーキングイベントを開催できたことは慶ばしく、日米の良好な関係の発展のため引き続き参加した皆さまとの連携を深めていきたいとお言葉の後、乾杯のご発声をいただきました。



今回は、旧公邸の1階に加えて2階も使用させていただき、伝統と格調高い雰囲気の中で、ワシントンの日本料理店に作ってもらったお寿司、唐揚げ、シューマイなどを味わいながら、ワインやビールを楽しみました。大使館館員の方にも多くご参加いただいた他、ワシントンにご出張中の参加者も含め、皆さまの親睦が深まったものと思います。

閉会は、商工会の角道幹事より、ワシントンの日本人コミュニティーの底力を発揮して良好な日米関係をさらに発展させていくとの決意表明のもと、皆様のご多幸を祈念して一本で締めさせていただきました。2年ぶりの開催を予定している25年1月の新春祭りについてもご案内頂きました。大勢の参加者とお話するには約2時間のイベントは短く感じられたかもしれませんが、ぜひ今回のイベントで作られたネットワークを今後さらに深められることを願っております。



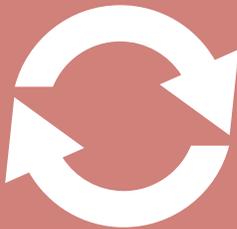


ネットワーキングイベントを安全かつ盛況の内に実施することができ、ご参加いただいた皆さまを始め、会場設営や片付けにも多大なご協力をいただいた大使館の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

次回のネットワーキングイベントは来年の初夏頃に計画したいと考えております。多くのご参加をお待ちしています。

(了)

登録情報のご確認、更新をお忘れなく



法人会員、個人会員ともにご登録情報（会員名、電話番号、メールアドレスなど）にご変更がある場合は、お気軽に事務局までメール（office@jcaaw.org）にてご連絡ください。

会報やその他の情報がタイムリーにお手元に届きますよう、登録情報の更新にご協力ください！

JCAAW

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方！時間のない方！
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜！



箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だ〜ど安く
済ませたい！そんな方へ



定形の箱に入るお荷物だけで
ご自身で梱包をして節約！
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



定形の箱に入るお荷物だけで
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます！

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も！

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店
22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com



Illustration by Emi Kikuchi

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)
URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>



PASONA

Human
Resource
Solutions

「人事」から始まる
「経営戦略」

詳しくはこちらから



広告募集のご案内

JCAW会報に広告を掲載しませんか？



JCAWでは、広告掲載の申し込みを承っております。JCAWは500名以上の会員からなり、ワシントン地域の日本人社会に広く浸透しています。

是非、貴社の広告や宣伝にJCAW会報をご利用下さい。

会報の広告にリンクを設定する事により、クリック1回で、貴社のウェブサイトやEメールアドレスにアクセスすることができます。年間契約でさらにお得になります。

JCAWウェブサイトのトップページには、バナー掲載など、各種オプションを取り揃えております。

詳しくは、JCAW事務局までお問い合わせ下さい。



広告のイメージ図



ウェブサイトのバナーのイメージ図

料金体系（2024年1月からのレート）

広告掲載先	サイズ	商工会会員		非会員	
		月料金	年料金	月料金	年料金
会報※1	1/4ページ	\$55	\$495	\$80	\$720
	1/2ページ	\$110	\$990	\$135	\$1,220
	1ページ	\$220	\$1,980	\$265	\$2,385
ウェブサイト※2	200px X 33px	なし	\$330	なし	\$825

※1 会報広告 原稿制作費は当広告掲載料金に含まれません。原稿は広告主様にて手配願います。1年（1月～12月）契約で1回割り引となります。（会報は年10回発行）

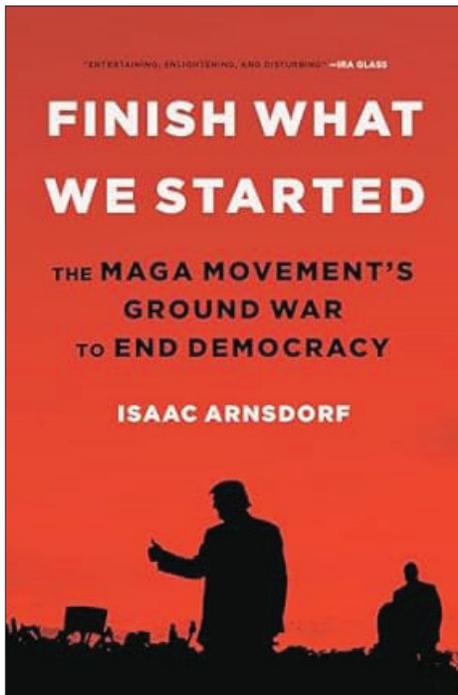
※2 ウェブサイトのバナーは年間契約（1月～12月）のみとさせていただきます。（バナー作成を依頼する場合は、別途\$50～対応いたします。お気軽にご相談ください。）

お問い合わせ先

Japan Commerce Association of Washington, D.C., Inc.
1819 L Street N.W., Suite 410, Washington, D.C. 20036
TEL: 202-463-3947 FAX: 202-463-3948
Email: office@jcaaw.org URL: www.jcaaw.org

今月の書籍紹介 どっこいスティーブ・バノンはまだ健在 MAGA政治家に乘っ取られた共和党 「始めたことを終わらせよう」 アイザック・アーンドーフ

ポトマック・アソシエーツ 池原 麻里子



「始めたことを終わらせよう」
アイザック・アーンドーフ(アシエツト)

著者はワシントン・ポストの政治記者で、トランプ前大統領、MAGA(Make America Great Again)運動、共和党を操作している政治家、活動家、献金者、メディアについて報道している。

本書の副題は「MAGA活動の民主主義を終わらせるための地上戦」。トランプ氏が、2020年大統領選には不正があり、実は自分が勝利したのだとデマを主張し続けたため、1月6日の議会襲撃が起き、その後もデマ信者による草の根レベルで活動が続いている。その結果、驚くべきことに共和党支持者のなんと70%が、2020年大統領選は本当はトランプが当選していたのを、民主党が不正を働いて勝利を盗んだと考えているのだ。その過程で従来の正統派共和党員は追放され、MAGA信者が地元レベルの地位につき、共和党はトランプに乗っ取られてしまった。

そのブレーンとも言えるのが、2016年トランプの選挙事務長を務め、その後ホワイトハウスの上級顧問・主任ストラテジストを務めたスティーブ・バノンだ。同氏は2017年8月、シャーロットビルでネオナチが行進した直後にホワイトハウスから追放された。トランプ自身はネオナチが「ディープ・ステート」とい

う敵に対して抗議していたのだと主張し、彼らを批判しなかったにもかかわらずだ。

しかし、その後も特に2020年に選挙結果を覆そうとした時も含め、トランプには近い存在だ。ただ現在は、議会の1月6日議会襲撃事件調査会での証言を拒否した議会侮辱罪で、今年7月1日から4カ月、刑務所に入っている。(注:その後10月29日釈放)

バノンは、民主党プロGRESSIVE派は有権者の中でも少数で、残りはMAGAだと信じており、彼らが解放されれば優勢になり、今後MAGAが100年支配できると信じている。ネオコン、ネオリベラル、大手献金者、グローバルリスト、ウォール街、エリート、そして彼らが支持している既存の政党を破壊することを目的として、War Roomというポッドキャストで極右翼の主張を展開していた。

2020、2022年とトランプが推薦した候補たちは大敗した。2020年はペンシルバニアやアリゾナの共和党州知事や選挙委員たちが、トランプが要請した不正な行動をとることを拒否したからだ。バノン、RINOと呼ばれる名だけの共和党員(Republicans In Name Only)を排除すべく、「選挙区戦略」を推進してきた。

例えば長年、アリゾナで選挙区委員を務めてきた女性は、突然現れたMAGA・QAnon信者たちに追放されてしまう。そして選挙区の関係者が全員、MAGA信者に代替されてしまった。MAGA信者は自動投票機や不在投票などに不正があったと信じ続けている。偽の投票紙はアジア製だと、竹の繊維が使われていないかテストを要求する始末。

選挙区委員などの職についた彼らは自動投票機を排除したり、有権者リストを意図的に操作したり、投票場を民主党支持者に不利な場所に移動し、それでも民主党候補が当選した場合は正式に認定をしないといった手段を取るつもりでいる。

またMAGA政治家候補たちも自らが当選しない限り、選挙結果は認めないと、トランプ同様の立場を取っている。一方、トランプに賛同しない連邦共和党議員たちは、MAGA候補に敗北するという目にも会っている。

MAGAの草の根革命は2022年中間選挙後、アリゾナの他、サウスダコタ、ネブラスカ、ワシントン、カンザス、テキサス、ペンシルバニアに広まっている。

大統領選だけでなく、連邦議会、州知事、州議会等々、すべての2024年の選挙結果には、民主主義の崩壊ともいえる暗雲が立ち込めている。

(NEW LEADER 2024年9月号より転載)

English Rescue by Jennifer : 「Language and Culture」

ジェニファー・スワンソン

Hot Topics – American sports: Women’s sports

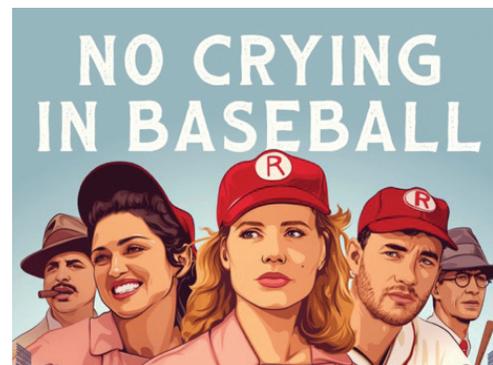
With the excitement of Super Bowl LVIII and the thrilling news that Shohei Ohtani signed with my hometown Dodgers, (Go Dodger Blue!) I decided to focus on popular sports in 2024. But first, a quick note: in case you are new to this JCAW column, in the past few years, I have spotlighted famous American speeches, poems, podcasts, and more. Back issues can be found on the JCAW website.

Sports play a crucial role in American culture. From January, we have focused on spectator sports, covering Football, baseball, basketball, and college basketball. From the summer we discussed sports people like to play: pickleball, lacrosse, and NASCAR.

This month we will look at something that is cross section of American sports: women’s sports.

History: The history of women’s sports has seen gradual progress from informal activities in the 1800s to today’s global competitions. Initially limited to “feminine” sports like tennis and archery, women slowly gained access to competitive arenas, joining the Olympics in 1900 with events in tennis and golf. The mid-20th century saw increased interest, with leagues like the All-American Girls Professional Baseball League during WWII. A major turning point came with Title IX in 1972, which mandated equal sports opportunities in U.S. schools, inspiring similar initiatives worldwide. Since then, professional leagues and global tournaments have expanded, with stars like Serena Williams and the U.S. women’s soccer team championing women’s sports. Today, while challenges like equal pay and media representation persist, women’s sports continue to achieve greater recognition and support.

Women’s Baseball: During WWII, with male players drafted, the All-American Girls Professional Baseball League (AAGPBL) was created in 1943 to keep baseball alive. Women players, like Dorothy Kamenshek, quickly gained popularity, showcasing their skill while maintaining a feminine image. The league, which ran until 1954, proved women’s capability in professional sports and left a lasting impact on baseball. A well-known movie called *A League of Their Own* (1992), directed by Penny Marshall, follows sisters Dottie (Geena Davis) and Kit (Lori Petty) as they join the All-American Girls Professional Baseball



<https://www.hachettebookgroup.com/titles/erin-carlson/no-crying-in-baseball/9780306830181/?lens=hachette-books>

League during WWII. With Tom Hanks as their gruff coach, the film captures the challenges and triumphs of women in baseball, making it a classic story of resilience and breaking barriers, featuring the famous line, “There’s no crying in baseball!”

Popular sports with younger girls: In elementary school, popular sports for girls include activities that are accessible, fun, and promote teamwork. Soccer and basketball are common choices, helping kids develop coordination and social skills while working together. Gymnastics is also popular, focusing on flexibility, balance, and strength, while dance classes—from ballet to hip-hop—offer a chance to express creativity and stay active. Swimming is widely enjoyed, providing both fitness and an important life skill. For a gentle introduction to baseball, many girls participate in T-ball or softball in a low-pressure environment. Volleyball is another favorite, often introduced with simple rules to help young players develop teamwork and hand-eye coordination. These sports not only enhance physical skills but also encourage social interaction and confidence.

How are girls sports seen in popular culture? Girls’ sports play a crucial role in American culture by promoting values like teamwork, confidence, and resilience. Over the years, girls’ participation in sports has grown significantly, leading to greater gender equity and expanded opportunities for women in athletics. These sports teach essential life skills, such as leadership, discipline, and perseverance, which benefit both academic performance and personal development. Many celebrated American athletes, from soccer stars like Mia Hamm to gymnasts like Simone Biles, began their careers in youth sports, inspiring generations of young girls to pursue their dreams. Girls’ sports have become a point of pride in American culture, symbolizing empowerment, progress, and equality.



<https://olympics.com/en/athletes/simone-biles>

Equal Pay: The future of women’s sports and equal pay is promising, though challenges remain. As visibility and investment in women’s sports continue to grow, there’s increasing pressure for greater pay equity. Many high-profile women athletes, like those in soccer, tennis, and basketball, have advocated for equal pay, leading to landmark changes. For example, the ****U.S. Women’s National Soccer Team**** achieved a significant victory in their fight for equal pay, highlighting the ongoing issue of gender disparity in sports compensation.

The growing popularity of women’s leagues, better media coverage, and increased sponsorships are driving progress toward pay equity. As more people tune in to watch women’s sports, commercial value increases, providing more revenue for athletes. However,

full equality in pay requires sustained effort, including negotiations around broadcasting rights, sponsorship deals, and a cultural shift toward valuing women athletes as highly as their male counterparts.

In the future, we can expect more women's sports leagues to become financially self-sustaining, and while it may take time, the momentum behind equal pay is gaining strength as athletes, fans, and organizations push for fairness and recognition.

- <https://www.womenshistory.org/articles/womens-sports-history>
- <https://findmykids.org/blog/en/sports-for-girls>
- <https://www.nytimes.com/2022/02/22/sports/soccer/us-womens-soccer-equal-pay.html>



～Jennifer Swanson プロフィール～

日本にて7年在住中に、高校英語教師の経歴を持ち、日本企業でも働いた経験を生かし、現在は米国大学講師、日米協会講師、在米日本人に英語レッスンの他、米国人に日本語も教える。日米でのさまざまな経験を基に、“頻出テーマで はじめてのTOEFLテスト 完全攻略”(高橋書店:Jennifer Swanson/四軒家 忍(著))を出版、多方面から楽しい英語レッスンを展開しています。

jenniferswanson.org



H A P P Y

thanksgiving



11月号 編集後記

大統領選挙が事前の予想に反して意外とあっさり終わりました。結果が長期に亘って確定しない、政権移行が滞る、さらには暴動が起こるといった事態にならなかったのは何よりです。選挙が終わったばかりですが、新閣僚の指名など、日々、日本も含めて世界中の関心を集めています。新大統領就任までまだ2か月もあるので、我々も今から毎日振り回されていると今後4年間も身が持たないような気がしています。

日本も新政権が始動しています。今週から来週にかけて南米で外交イベントが予定されていますが、何よりも米国新政権との間で強固な関係を築いていただくことが我々日本企業の米国での事業の安定につながるものとの思いを強くしています。

サマータイム終了により日没時間が早くなり、冬の訪れを強く感じます。サンクスギビングからクリスマスへと何かとそわそわと落ち着かないシーズンに入ります。商工会会員の皆様におかれましては、引き続きご健康に留意しながら晩秋をご堪能ください。

岡崎・岡本



会報に関するお問い合わせにつきましては、[JCAW事務局](#)までご連絡ください。
